

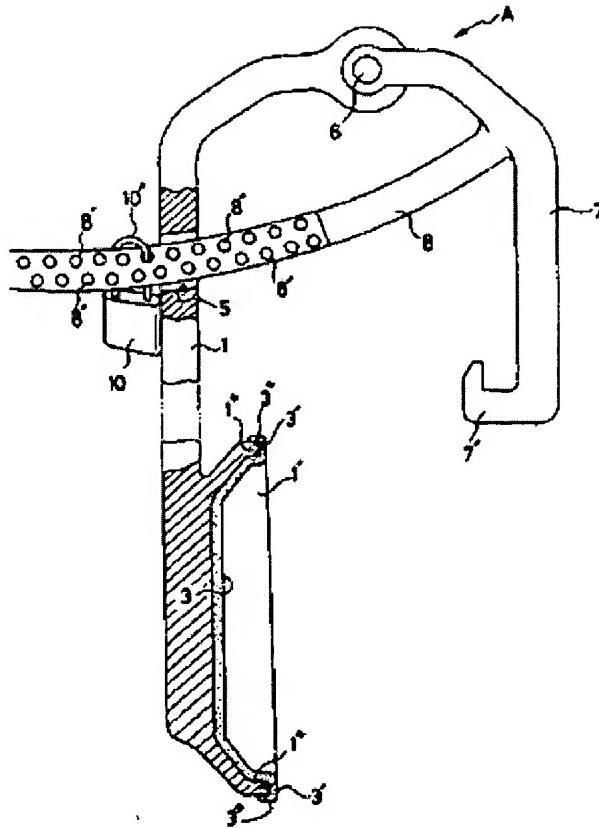
FIXING DEVICE FOR CAR UNDER ILLEGAL PARKING

Patent number: JP58076349
Publication date: 1983-05-09
Inventor: WADA TAIZOU
Applicant: KOKUSAN KINZOKU KOGYO KK
Classification:
- international: B60T3/00
- european: B60R25/00B2; B60T3/00
Application number: JP19810172903 19811030
Priority number(s): JP19810172903 19811030

[Report a data error here](#)

Abstract of JP58076349

PURPOSE: To offer a device to secure the control of parking violation by applying a fixing device to a wheel of the car under violation, by locking it and thereby hindering the driver from driving the car away. CONSTITUTION: A bent part 1' of No.1 fixing member 1 is fitted at a wheel cover outside the wheel and, then, No.2 fixing member 7 is located inside this wheel, whereafter No.1 and No.2 fixing members 1, 7 are turned round a pin 6 to their respective sides of pinching the wheel. In the condition as fully pinched, the staple 10' of a padlock 10 is detained by a small hole 8' in a projecting piece 8 furnished at No.2 fixing member 7. Thus the locking is completed. Thereby No.1 and No.2 fixing members 1, 7 are hindered from turning.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

BEST AVAILABLE COPY

⑯ 日本国特許庁 (JP)

⑮ 特許出願公開

⑰ 公開特許公報 (A)

昭58—76349

⑯ Int. Cl.³
B 60 T 3/00

識別記号

府内整理番号
7146-3D

⑯ 公開 昭和58年(1983)5月9日

発明の数 1
審査請求 有

(全 4 頁)

⑩ 駐車禁止用固定装置

⑪ 特 願 昭56—172903

⑫ 出 願 昭56(1981)10月30日

⑬ 発 明 者 和田泰蔵

東京都大田区蒲田2丁目8番2

号国産金属工業株式会社内

⑭ 出 願 人 国産金属工業株式会社

東京都大田区蒲田2丁目8番2

号

⑮ 代 理 人 弁理士 入江晃

明細書

1. 発明の名称

駐車禁止用固定装置

2. 特許請求の範囲

一端に湾曲部を形成し且つ中程に貫通溝孔を形成した第1固定部材と、中程に多数の小孔を形成した弧状の突出片を形成し且つ一端に折曲係止部を形成した第2固定部材とをピンで回動自在に枢着し、施錠時に前記第2固定部材の突出片に形成した小孔に南京錠の掛金を係入させて第1固定部材と第2固定部材を固定することを特徴とする駐車禁止用固定装置。

3. 発明の詳細な説明

本発明は車の移動を阻止する駐車禁止用固定装置に関するものである。

車の駐車場は路上に駐車できる有料の駐車場と広い敷地を駐車置場とした有料の駐車置場があり、また公団住宅などにおいては特定された場所に有料あるいは無料駐車置場がある。

路上駐車置場の場合には時間制になっていて、使用時間が超過すると、駐車違反として移動車により警察が指定する場所に運ばれるのであるが、この駐車違反となっている車に到着する前に、駐車違反車が逃げてしまうので、違反者を十分に取締れないという問題があった。

また、公団住宅などにおいては、指定車以外の車が自由に駐車できるようになっているので、その駐車置場の所有権者が違反駐車に対し、違反者に注意をしようとしても、いつの間にか、その駐車違反車が何故かへ行ってしまうので、

駐車違反者に注意を促すのに、注意事項を書いた注意書きを駐車違反車のフロントガラスに貼付けるといったことがおこなわれているのであるが、このように注意しても直接違反者に言わなければ効き目がなく、そのために所有者は無断駐車に対し、管理できないという大きな問題があった。

本発明は斯る問題点を除去することを課題とするものであって、この課題はつぎの手段により十分且つ満足に解決される。

本発明は車の前輪あるいは後輪に車が移動できない程度の大きさの固定装置を装着することであって、その要旨とするところは特許請求の範囲に掲記するところである。

以下、本発明の一実施例を図面を参照しながら

このようにゴムカバー3を嵌着させておけば、車輪2の飾りになっているホイールカバー4に傷をつけることがない。

また第1固定部材1の他端は第2固定部材7の一端とピン6により枢着され、第1固定部材1と第2固定部材7はこのピン6を支軸に回動自在である。

また第1固定部材1に形成した貫通溝孔5に、第2固定部材7に形成した弧状の長い突出片8を摺動自在に貫挿する。この突出片8には千鳥状に小孔8'が複数個形成してある。この小孔8'には施錠用の南京錠10の掛金10'が保入し、この突出片8が第1固定部材1の貫通溝孔5より抜脱されるのを阻止する。

また第2固定部材7の他端に折曲保持部7'を

ら説明する。

第1図は車の前輪に固定装置Aを装着した車と固定装置の側面図である。

第2図は固定装置の要部を一部切欠した正面図である。

第3図は固定装置を車輪に装着した平面図である。

第4図は施錠時の要部の切欠斜視図である。

第2図において、1は車輪2の外側になる第1固定部材である。この第1固定部材1の一端は円盤状の皿形に形成され湾曲部1'になっている。この湾曲部1'内にゴムカバー3が嵌着され、このゴムカバー3の外周縁3'を湾曲部1'の外周縁1"に嵌着させるための環状溝3"を形成している。

形成し、この折曲保持部7'を車輪2の内側で保持させる。

本発明はこのように構成されたものであるから、車輪2の外側のホイールカバー4に第1固定部材1の湾曲部1'を嵌合させ、さらに第2固定部材7を車輪2の内側に位置させたあと、ピン6を支軸に第1固定部材1と第2固定部材7を互に車輪2を挟持する間に回動させ十分に挟持した状態において、第2固定部材7に設けた突出片8の小孔8'に南京錠10の掛金10'を保入させて施錠すれば、第1固定部材1と第2固定部材7は回動が阻止される。

本発明は上述のようになるものであるから、構造が簡素となり、車輪に固定装置を装着させると車を動かすことができないので、駐車違反

の取締りを十分におこなえるだけでなく南京錠が使用できるので錠の交換が容易となるから、複数人の管理者がいる場合に、それぞれの南京錠が使えるので便利であるなど実用的效果を奏するものである。

4. 図面の簡単な説明

図は本発明の一実施例であって、第1図は車の前輪に固定装置を装着した車と固定装置の側面図、第2図は固定装置の要部を一部切欠した正面図、第3図は固定装置を車輪に装着した平面図、第4図は施錠時の要部の切欠斜視図を表わすものである。

1 … 第1固定部材、

2 … 車輪、

6 … ピン、

7 … 第2固定部材、

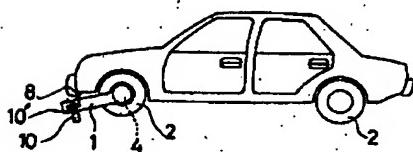
8 … 突出片、

10 … 南京錠

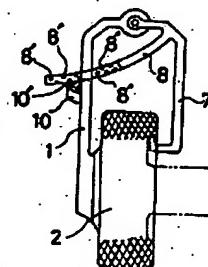
特許出願人 国産金属工業株式会社

代理人 弁理士 入江 晃

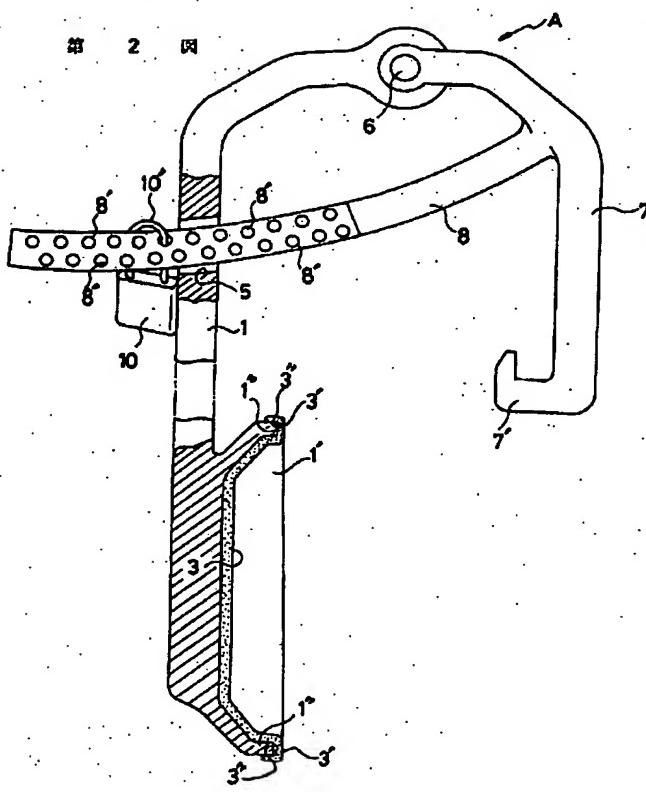
第1図



第3図



第2図



第 4 図

